
太陽の子 新子安保育園

*** 評価結果 ***

2013年10月9日 公表

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：

特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>



実施概要

事業所名	太陽の子 新子安保育園
最終報告書作成日	2013年10月9日 (評価に要した期間 4か月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

1. 自己評価	<p>【実施期間：2013年6月1日～2013年7月16日】</p> <ul style="list-style-type: none">・園長・主任が主旨を説明後、自己評価票を職員全員に配付。各個人が記入した。・各個人が記入した自己評価票を持ち寄り、クラスごとにミーティングを開き、意見交換して一つにまとめた。・クラスでまとめた自己評価票を持ち寄り、クラスリーダーミーティングを開き、意見交換してまとめた。・主任・園長で最終的にまとめ、職員にはかり、意見交換・修正し、最終的にまとめた。
2. 利用者家族アンケート調査	<p>【実施期間：2013年6月17日～2013年6月30日】</p> <p>配付：全園児の保護者（33家族）に対して、園から手渡しした。 回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。</p>
3. 訪問実地調査	<p>【実施日：2013年7月29日、2013年8月1日】</p> <p>第1日目 午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：書類調査～事業者面接調査（園長）</p> <p>第2日目 午前：各クラスの保育観察および夏祭りの様子観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：職員ヒアリング（クラスリーダー5名、看護師、栄養士、非常勤職員1名）～事業者面接調査（園長）</p>
4. 利用者本人調査	<p>【実施日：2013年7月29日、2013年8月1日】</p> <p>訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。 乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間などに適宜聞き取り調査を実施。</p>

評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

【施設の概要】

太陽の子 新子安保育園は、JR「新子安」駅または京急線「新子安」駅から、徒歩約2分、国道15号線(第一京浜)沿いの、11階建てマンションの1階にあり、2010年(平成22年)10月、長谷川興産株式会社により開設されました。

園の施設は、保育室、事務室、調理室などからなり、道路から園入口までのアプローチに、園庭および朝夕送迎時の保護者用駐車場が設置されています。保育室は広いオープンスペースを、収納棚・ロッカーなどで4つに仕切っています。

定員は36名(0~5歳児・産休明け保育あり)、開園時間は、平日7時30分~19時30分、土曜日7時30分~16時30分です。0~3歳児は年齢ごとのクラス編成ですが、4・5歳児は合同のクラスとなっています。

保育理念を「“のびのび すくすく にこにこ”子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指しています。」と定め、それに基づき保育目標を「心身共にたくましく元気な子ども 友だちと仲良く遊び思いやりのある子ども 感性豊かで自分で考え行動ができる子ども」としています。

1. 高く評価できる点

子どもたちは、明るく元気よくのびのびと遊びながら、さまざまなことを学んでいます

子ども本人のしたいことや遊び込む時間を十分に確保した保育が行われています。おもちゃや絵本は子どもが自分で取り出しやすい高さの棚に収納され、自由遊び時には、ごっこ遊び・ブロック遊び・絵本読み・コマまわしなど、ひとりで好きなことに熱中したり仲間と一緒に遊んだり、それぞれに楽しんでいます。一斉活動の時間には、皆で一緒に遊具を使う・順番に行うなどのルールや、自分の思いを言葉で伝えることや譲り合うことなどを学んでいます。折り紙やコマ回しのときなど、うまくできない子どもには、保育士は「もうちょっと」などと声かけし、子どもたちの「やりたい!」を見守り、「できた!」の喜びを子ども自身が感じられるようにしています。

給食やおやつは、手づくりで、節分の恵方巻き・子どもの日の鯉のぼり形ハンバーグなどの行事食や、おやつには、動物や子どもたちの好きなキャラクターをかたどったクッキーが出され、子どもたちは楽しみにしています。保育士は、手洗いをする・箸を正しく持つ・歯みがきをするなどの習慣が身につくよう支援しています。また、食育の時間では、例えば、かぼちゃを手で触って重さを感じたり、切って中を見て、種があることや外側と色が違うことを観察したりするなど、様々な食材が、調理前はどのような形や色をしているかなどを学んでいます。

異年齢児間の交流が盛んで、月に1度、4・5歳児が数人ずつに分かれて、1・2・3歳児クラスに行き、一緒にゲームをしたり散歩に出かけたりしているほか、異年齢の子どもたちが一緒に活動するプログラムが随時取り入れられています。さらに、朝夕の時間外保育の時は、0歳児、1・2歳児、3・4・5歳児のグループに分かれての異年齢交流が日常的に行われています。

職員間の連携・情報交換が良好で、一丸となって、より良い保育を目指しています

全職員が、一人一人の子どもの配慮すべきことや状況などを把握し、子どもの気持を理解し対応しています。この背景には、毎朝のミーティング・週案会議・リーダー会議・職員会議などで十分に情報交換が行われていること、気がついたことはすぐに提案できたり、職員同士で気軽に言い合えたりする良い風土であることが挙げられます。屋外と室内活動の時間やどの場所を使うかなどを週案ミーティング時に調整し、音楽や体操などの音がお隣のクラスの活動の妨げにならないように配慮していますが、その日の子どもたちの様子によっては活動内容が変わることもあります。そのような場合でも、お互いのクラスの様子を見ながら、あ・うんの呼吸で臨機応変に対応できているのも職員間の連携の良さが伺えます。

職員は、「～しなさい」「～はだめ」「子どもに～させよう」など、命令・否定・指示語は使わないように心がけ、子どもたちを「励ます」気持ちを持って保育にあたっています。

また、職員はつねに笑顔を絶やさず、子どもの心に寄り添うことを心がけています。例えば、訪問調査第2日に行われた“夏祭り”では、「買う・食べる」の“ごっこ遊び”を職員自身も子どもたちと同じように行って楽しんでいる姿が見られました。日常の保育場面でも、絵本読み聞かせを行いながら“びっくりした”“よかった、よかった”など、子どもと同じ目線に立っています。子どもたちと一体となったアットホームな雰囲気の中で、子どもたちの気持を汲み取り、よりよい保育となるように全職員が目指しています。

2. 工夫・改善が望まれる点

地域の子育て支援ニーズへの対応・地域との連携

開園後、日が浅い・園舎や園庭が狭いなどの理由で、育児相談・一時保育・交流保育・園庭開放などの地域の子育て支援サービスは行われていないのが現状です。子育て支援へのニーズがあることは園としても把握し、例えば「赤ちゃんの駅」(通りがかりの親子におむつ替えなどの場所を提供する)の構想を検討していますので、できることから始めることが期待されます。

また、マンション内の保育園であり、地域との交流がしにくい立地条件ですが、近隣の病院・隣接する介護サービス事業所・近隣のマンションオーナーが、災害時に「避難場所として使って良い」「応援に駆けつける」などと、声をあげてくれています。しかし、これらは園と事業者などとの個々の結びつきに留まっていますので、さらに、地元の町内会・自治会などとの連携・交流を密にし、地域に根付いた保育園となることが期待されます。

危機管理マニュアルの工夫

衛生管理・感染症等対応などの日常業務マニュアルを作成しています。また、「危機管理マニュアル」を定め、発熱・熱性けいれん・食中毒・けが・不審者・地震・火災などさまざまな場面を想定し、それぞれ1枚ずつのフローチャートにまとめ、誰もが分かるようにしています。しかし、「危機管理マニュアル」の内容は、発生後どのようにするか・どのように行動するかが主体であり、発生を予防するにはどのようにするか・何をすべきかなどを記したマニュアルは、ほとんど作成されていません。危機管理についての予防対策マニュアルを整備することが望まれます。

そして、定期的な見直しをどのようにするか、見直し後の職員への周知・研修をどのように行うかなどのマニュアル管理の方法も定めることが期待されます。



分類別評価結果



「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。

3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と 保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は「“のびのび すくすく にこにこ” 子ども・保護者・地域・保育者、みんなで感動を分かち合い、満足できる、笑顔あふれる保育園を目指します。」と定めています。 ・ 保育方針を「・安心できる人間関係・整った保育環境の中で、自己を十分に発揮しながら活動することにより健全な心身の発達を図ります。 ・様々な経験や人との関わりの中で、温かい人間性と豊かな感性を持った子に育てます。 ・子育て支援や地域との交流を深め、存在感のある保育園になるよう支援の充実に努めます。」としています。 ・ 保育目標を「心身共にたくましく 元気な子ども ・友だちと仲良く遊び 思いやりのある子ども ・感性豊かで 自分で考え行動ができる子ども」としています。 ・ 園の玄関・事務室・職員更衣室に保育理念・保育方針を掲示しています。また、年度の変わり目や指導計画を立てる際に保育理念・保育方針を確認しているほか、職員会議・園内研修などの場で、園長・主任が抜き打ちで職員に問いかけて確認しています。 ・ 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしています。保育課程を保護者の目につきやすい事務所入口に掲示し、それに基づく指導計画やクラスごとの保育目標などをクラス懇談会で説明しています。 ・ 保育課程に基づき、年齢ごとに、年間指導計画・月間指導計画・週案を作成しています。職員は、日々の保育の中で、子どもたちの意見や態度・表情・仕草などから興味・関心を汲み取り、指導計画の見直しに活かすようにしています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に 応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会終了後、保護者と個別面談し、あらかじめ保護者に記入してもらった子どもの生育歴や家庭での様子・家庭の状況などをベースに、詳しく聴き取っています。また、保護者との面談の際には必ず子ども連れで来てもらい、面談しながら子どもの様子を把握しています。 ・ 入園後の短縮保育（ならし保育）は、子どもの様子や保護者の状況を踏まえて、保護者と個々に話し合いながら進めています。乳児クラスは、毎日、所定形式の連絡ノートを用いて、園での様子、家庭

	<p>での状況をていねいに連絡しあっています。3歳児以上は、必要に応じ連絡帳を用いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達や状況に応じて、月間指導計画・週案の作成・評価・見直しを行っています。少人数のクラスで過ごしてきた5歳児に対しては、小学校への就学時に、多人数のクラスでも自信を持って臨めるように、自分で考え行動できるよう指導しています。 ・ 評価、見直しにあたっては、朝夕送迎時の保護者の意見や運営委員会の意向などを反映するようにしています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調機器、床暖房設備、空気清浄機により、適切な温度・通風・換気を確保しています。また、冬場は加湿器を設置したり、濡れタオルを室内にかけたりして、適切な湿度となるようにしています。さらに、週案ミーティング時に、クラスリーダー間で、屋外と室内活動の時間やどの場所を使うかなどを調整し、音楽や体操などの音か他クラスの活動のさまたげにならないよう配慮しています。 ・ 沐浴設備、温水シャワーを設置しています。毎日の清掃のほか、沐浴設備使用後は、その都度、次亜塩素酸ナトリウム希釈液に浸した布を用いて沐浴槽を拭いています。 ・ 子どもの発達や活動内容に応じて、床にマットを敷いたり、パーティションで仕切ったりして、適切な環境となるよう保育室の使い方を工夫しています。また、時間外保育のとき、0歳児、1・2歳児、3・4・5歳児のグループに分かれ、異年齢児間交流の場としています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児については、離乳食の進め方、トイレトレーニングの開始時期など、保護者と相談し、一人一人の子どもの発達に合わせた個別指導計画を作成しています。幼児については、特別な課題や気がかりな点がある場合には、月間指導計画の中に配慮事項などを記載しています。 ・ 子どもや家庭の個別の状況・要望の記録や入園後の子どもの成長発達記録を、個人別にファイリングして鍵のかかる書棚に保管しています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に配慮を要する子どもや発達が気になる子ども、障がいのある子どもに関する研修に、職員は積極的に参加し、特性・適切な配慮・接し方などを学んでいます。参加した職員が、研修内容を職員会議で報告し、職員全体で情報を共有するようにし、日々の保育に活かしています。さらに、個別のケースについての会議での話し合い記録も職員会議で報告し、職員全体で情報を共有するようにしています。 ・ 段差の無いフラットな造りとなっていて、車椅子でも利用できるトイレを備えるなど、バリアフリーに配慮しています。 ・ 虐待が疑わしいときや見守りが必要なとき、または虐待が明白にな

ったときには、神奈川区役所と相談し、連携して対処することとして
います。職員は、日々の子どもの言葉・表情・態度などに注意し、
午睡時にパジャマに着替える際に身体観察をしっかりと行ってい
ます。場合によっては、神奈川福祉保健センターの保健師に相談で
きることを全職員に周知しています。

- ・ アレルギー疾患に関する知識や情報を、園内研修や職員会議で説明
し、全職員に周知しています。食物アレルギーの場合、翌月の献立
表が出来上がった段階で、保育士と栄養士が「アレルギーミーティ
ング」を行い除去食・代替食をチェック・確認するとともに、保護
者にも献立表をチェックしてもらっています。
- ・ 実際に、除去食・代替食を提供する場合は、色の違った食器・トレ
イを使い、該当する子どもの名前を食器を覆うラップに記載してい
ます。そして、クラス担任が直接調理室まで取りに行き、トレイに
乗せられた実物を見ながら 栄養士と声に出して確認、 園長また
は主任と声に出して確認、 部屋に戻り近くの職員と声に出して確
認するという3段階のチェックを行い、食事中も職員が子どもの隣
に座って、見守っています。また、毎朝のミーティングで複数の保
育士と栄養士が献立を確認しているほか、玄関にあるその日の給食
サンプルを展示スペースに、アレルギー食材の有無・除去または代
替食材の表示をしています。
- ・ 外国籍の子どもが在籍するクラスでは、担任保育士が日々の保育の
中で、いろいろな国があり、文化や習慣の違いがあることを子ども
たちに伝えています。また、保護者のどちらかが日本籍であり、意
思疎通に困ることはほとんどありませんが、必要に応じ、絵カード
を用意したり、書類にふりがなをつけたりする工夫をしています。

- 6

苦情解決体制



- ・ 要望・苦情の受付担当者は園長、苦情解決責任者は保育事業部長で
あること、第三者委員（2名選定）に直接苦情を申し立てることが
できることを、入園のしおりに明記し、保護者に知らせています。
- ・ クラス懇談会・個人面談・運営委員会の場や行事後のアンケートで、
要望や苦情を聞いています。また、要望や苦情は、文書でなくとも
口頭でも受け付けることを保護者に伝え、朝夕送迎時などに、職員
はできるだけ保護者に声かけをして、意見の出やすい雰囲気となる
よう努めています。
- ・ 苦情解決体制をフローチャートで示し、要望・苦情があったときは、
全職員に周知し、共通認識をもって迅速に解決に努めるようにして
います。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室内のおもちゃや絵本は、子どもが自分で取り出しやすく片付けもしやすい高さの棚に収納しています。引き出し式のおもちゃ箱には、箱の外側に中に入っているおもちゃの写真が大きく貼ってあり、乳児にも一目でわかる収納にしています。 ・ 当園は小規模・少人数の園であり、各保育室とも限られたスペースの中で、組み立て式のマットやサークルなどを工夫して子どもたちが飽きずに遊べる環境を作っています。 ・ 職員は、皆で一緒に遊具を使う・皆で順番に遊ぶなどのルールを、年齢に応じた言葉かけで行い、皆で楽しく遊ぶ大切さを学べるよう配慮をしています。 ・ プランターなどでアサガオやヒマワリを育てています。種まき・移植から経験し毎日の水やり当番を決め、園全体で植物の成長を楽しみに観察しています。 ・ 子どもたちが自分の気持ちを自然に表現できるように、保育士は年齢に合った声かけや環境設定をしています。乳児クラスから、音の出るおもちゃでリズムをとったり、古新聞紙をたくさん使った遊びを取り入れるなどして、子どもの自由な表現で子ども自身が思いきり楽しめるようにしています。 ・ 月に1度、異年齢の交流として4・5歳児が数人ずつに分かれて、1・2・3歳児クラスと一緒にゲームをしたり散歩に行ったりする時間を設けています。保育室は1ルームを4クラスに仕切って使用しているため、プログラムに関わらず異年齢の交流は日常的です。 ・ 散歩や屋外活動を積極的に取り入れています。散歩は年齢にあった距離・ルートを考慮して行き先を選定しています。PM2.5の値が高い日や天候が悪い日は、室内遊びにかえるなど柔軟に対応しています。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食の食事は、あらかじめ子どもの食べられる量を聞いて盛り付け、子ども自身が完食できた喜びを持てるようにしています。苦手な食べ物も園の食育活動を通して子どもが少しずつ食べられるようになるなどの効果をあげています。 ・ 常勤の栄養士が独自の献立を作り、全て手作りの給食とおやつを提供しています。節分の恵方巻き・ひなまつりのいちご大福・子どもの日のこいのぼり形ハンバーグなどの行事食も提供し、季節感を味わえるようにしています。おやつについても、動物や子どもの好きなキャラクターをかたどったクッキーやロールケーキなどが、丁寧に多くの手間をかけて作られ、子どもたちの笑顔につながっています。

	<ul style="list-style-type: none"> 調理担当者は、出来る限り各クラスの子どもたちの食事の様子を見て回り、子ども声を拾う努力をしています。 毎日、玄関入り口にその日の給食サンプルを掲示し、(幼児食・乳児食は実物、離乳食は写真で掲示)迎えの保護者に見てもらえるようにしています。 乳幼児突然死症候群への対策として、0歳児は5分毎、1・2歳児は10分毎のプレスチェックと目視チェックをし、記録に残しています。 排泄については、それぞれの子どもの排泄のリズムを把握し、個人差を尊重した援助をしています。職員間の連携を迅速的確に行い、子どもの排泄に関わる時間の流れをスムーズにしています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 園児に発熱・熱性けいれん・食中毒・熱中症・けが、などが発生した時の対応は、それぞれをわかりやすいフローチャートにして、事務所や保育室に常備し、すぐに活用できる体制を作っています。 園児には年2回の健康診断と年1回の歯科健診を行い、その記録はファイリングして管理しています。また、健診の結果を保護者に知らせています。 感染症等に関するマニュアルがあり、保護者には入園時に配布する「入園のご案内」に、感染症の基礎知識や発症後の登園基準を記載して知らせています。 子どもの日々の健康管理は、朝の視診・受け入れ時の保護者からの連絡・検温時(乳児)の様子・食欲など、一日を通して細やかな気配りで行っていますが、マニュアルとして明文化するには至っていません。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理に関するマニュアルがあり、保育室・調理室とも、マニュアルにそった清掃が行われ清潔・適切です。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、火災・地震などを想定した避難訓練・消火器取り扱い訓練を実施しています。通常の訓練の他に、予告なしの避難訓練や、保護者への引き渡し訓練、消防署立ち会い避難訓練なども組み込んで行っています。 事故やケガに備え、医療機関を含む救急機関の一覧表が事務室にあり職員の誰もがいつでも対応できるようにしています。また緊急時の保護者への連絡は、一斉メール配信サービスで対応します。 一斉メール配信サービスとは全国の小中学校はじめ多くの施設

	<p>で導入している、民間の一斉メール配信サービスで、緊急時の保護者への一斉連絡送信や、不審者情報の受信ができるシステムです。当園では保護者・職員とも全員が登録しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者対策として、民間警備会社と契約し 24 時間体制の警備をしています。さらに園の外周に防犯カメラを設置し、事務所のモニター画面での確認をしています。
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数保育の利点を活かし、子どもたちの気持ちや発言を受け止め、子どもにゆっくり寄り添う姿勢で保育を行っています。 ・ 子どもと一対一で話のできる場所・子どもが一人になれる場所については、スペースの制約がありますが事務所・玄関・場合によっては保育室を一部屋空けるなどの工夫をして、臨機応変に場所を確保しています。 ・ 個人情報の取り扱いについては、入園時や懇談会の場で保護者に説明しています。また保育中の子どもの写真を、ホームページやブログに掲載する際の許可は、入園時に保護者に承諾書を提出してもらっています。 ・ 保育の場で子どもや保護者に対して、父親の役割・母親の役割といった固定的な話し方をすることがないよう、職員会議で話し合っています。
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度始めの 4 月の「えんだより」には、保育理念を記載し、新入園児・在園児ともの保護者に、園の保育姿勢を伝えています。 ・ 年に 1 回、保護者との個別面談と各クラスの保護者懇談会を実施しています。 ・ 保護者からの相談については、相談を受けた職員が適切に対応できるよう、園長または主任が助言し園として継続的なフォローをしています。 ・ 日常の保育の様子は写真におさめ、クラス別のアルバムにして玄関に置き、希望者には写真販売をしています。また、保育園のブログもあり、ほぼ毎日更新されています。 ・ 保育参観・保育参加は、年 4 回実施しています。保育室の外から子どもに分からぬように様子を見る保育参観と、クラス内で子どもと一緒に保育を体験する保育参加のどちらでも、保護者の希望に応じて対応しています。 ・ 保護者会は存在しませんが、保護者代表 5 名が参加して園の運営委員会を構成しています。年 3 回の会議では活発に意見交換を行い、会議の議事録を掲示し、全保護者に知らせています。

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のスペースには制約があるものの、出来ることを見つける討議を始めています。具体的には通りがかりの親子連れにおむつ替えの場所を提供する「赤ちゃんの駅」の実現に向けた取り組みを考えています。 ・ 地域に向けた、育児相談・一時保育・交流保育・園庭開放などは行われていませんが、前掲のような取り組みが始まり、今後の成果に期待が持てます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民からの相談に必要な関係機関とは、研修や行事への参加、情報交換などにより、日ごろから連携が出来るよう交流をしています。 ・ 地域住民に向けた育児相談は行われていません。保育園の専門性を活かした今後の取り組みが期待されます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・ 地域コミュニティへの 働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 当園は住宅街ではなく国道に面した立地ですが、地域の人々との関わりを積極的に作り保育園への理解を得て、良好な関係を築いています。近隣の病院・隣接する介護サービス事業所・近隣のマンションオーナーが、災害時に「避難場所に使って良い」「応援に駆けつける」などと、声をあげて下さっています。 「幼保小教育連携事業」に参加し、地域の子安小学校とのつながりを得ています。小学校の体育館を借りて運動会を開催したり、大気汚染のチェックメーターを毎月借りたりするなどの交流をしています。 地域への施設開放や備品の貸し出しを行うには至っていません。
<p>- 2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市のホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」に園の情報を提供したり、神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」のイベントで保育園紹介のボード展示を行うなどしています。 園のパンフレットやホームページには、サービス内容・料金、また園の見学ができることなどの情報を提供しています。
<p>- 3 実習・ボランティアの 受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップの高校生を受け入れています。ボランティアを保育園で経験したいという学生の思いを受け、職員は愛情を持って指導しています。 実習生を積極的に受け入れています。効果的な実習を体験してもらうために実習前にオリエンテーションを行い、実習後には実習生及び在籍する学校教師と職員による反省会を含めた意見交換の機会を設けています。 実習生・ボランティアとも、受け入れています。現在受け入れのためのマニュアルがありません。実習生やボランティアに、園の方針を正しく理解した上で有意義な学びや活動をしてもらうために、受け入れのためのマニュアル作成が期待されます。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修計画に基づき、園内研修や横浜市などが行う外部研修を、必要な職員が受講しています。外部研修に参加した職員は、研修報告書を書くとともに、職員会議で内容を報告し、職員全体で情報を共有するようにしています。 ・ 報告・連絡・相談を密にするよう全職員を指導し、良好なコミュニケーションが図られるようにしています。また、非常勤職員の指導は主任が行い、非常勤職員も園内研修・外部研修に参加できるようにし、資質向上への取り組みを行っています。 ・ 研修の計画はありますが、現場実習(OJT)、自己啓発などを含めた人材育成の計画は策定されていません。また、人事評価の一環として、半期ごとに職務に関する自己評価とそれに基づく園長との面談は実施されていますが、面談時に意見交換した課題を踏まえ、目標設定としたり、達成度評価をしたりするには至っていません。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園長会などで得た工夫・改善した他園の良いサービス事例などをもとに、職員会議などで、具体的に取り入れる際の方策などを議論しています。 ・ 保育士などの自己評価は、計画で意図したねらいや、子どもの意欲や取り組む姿勢がどのようであったかなどを重視して行い、評価・反省・考察を、週案・月間指導計画・年間指導計画の作成・見直しに活かしています。 ・ 保育士などの自己評価結果から、園としての課題を明らかにし、例えば、ヒヤリハットの蓄積から、安全意識の向上・設備面の改善につなげるなどしています。しかし、園全体の自己評価をする仕組みはなく、公表するには至っていません。
<p>- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の保育や保護者との対応など、できるだけ現場の職員に任せるとしています。また、行事企画分担・日常業務分担を明確にすることで、自信・やる気をもたせ、モチベーションの維持・資質の向上につなげています。さらに、会議の場だけでなく、いつでも園長や主任に、改善提案したり意見を述べたりできることが職員ヒアリングで確認されました。 ・ 経験・能力や習熟度に応じた役割として、初任者・中堅・リーダー・主任など階層別の期待水準(案)を作成していますが、正式決定することが望まれます。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業規則および職員心得の中に、守るべき事項を明文化し、他施設での不正・不適切な事例を入手したときは園内研修で取り上げ、職員に周知・啓発するなど、職員が法・規範・倫理などを遵守するようにしています。 ・ 環境への配慮として、段ボールなど廃材を利用して玩具や玩具入れを手づくりしているほか、ゴミの分別をし、使用していない部屋の電灯や空調機器をこまめに消しています。しかし、これらの環境配慮への取り組みを、園の運営方針や目標として明文化するには至っていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念・保育方針を園の玄関・事務室・職員更衣室に掲示し、職員会議・園内研修などの場で説明しています。職員が理解しているかどうかは、年2回の園長と職員との人事面談の際に確認しています。 ・ 重要な決定や変更をするときは、保護者代表が参加している運営委員会であらかじめ意見を聞いています。重要事項が決定されたときは、保護者には文書を配布し伝えています。職員会議でも、目的・決定理由・経過などを十分説明しています。 ・ 主任は、日々現場に出て子どもたちと接しており、同時に個々の職員の業務状況を把握しながら、能力や経験にあわせ、的確な助言や指導を行っています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川区役所、神奈川区園長会や社内園長会などから、事業運営に影響のある情報を収集・分析し、重要な情報は職員会議で議論・意見交換しています。 ・ 中長期計画を本社が作成し、待機児童対策（保育園の新設、拡充）などを検討しています。 ・ 園運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる仕組みはできていません。現在、園の運営委員会メンバーは、保護者代表5名と、園長・主任ですが、横浜市の要綱では、構成メンバーとして 社会福祉事業の知識・経験を有する者（例えば、民生委員、自治会長、弁護士、税理士など）1名以上、利用者（保護者）、施設長など（園長など）を推奨しています。この要綱に沿った構成メンバーとすることが期待されます。



利用者家族アンケート分析

【実施概要】

実施期間：2013年6月14日～2013年6月30日

実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡しで配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

回収率：配付33件、回収29件、回収率87.9%

【結果の特徴】

【問1】の「保育目標・保育方針」については、83%の保護者が「よく知っている」「まあ知っている」と答え、その内の96%の保護者が、目標や方針について「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

【問2】～【問7】までの回答では、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合が、合わせて90%以上となっている項目が多数あります。その内、合わせて100%と高い評価を受けたのが、次の6項目です。

- * 「園と保護者との連携・交流」中の“園の行事の開催日や時間帯への配慮”“保護者からの相談事への対応”
- * 「職員の対応」中の“子どもが大切にされているか”“子どもが保育園生活を楽しんでいるか”“話しやすい雰囲気・態度であるか”“意見や要望への対応”

【問2】～【問7】までの回答中、「どちらかといえば不満」「不満」の割合が多かった項目を5つ挙げると、次の通りです。

- * 「快適さ・安全対策」中の“施設設備について”・・・・・・・・・・・・・・・・・・31.0%
- * 「日常の保育内容」中の“子どもが戸外遊びを十分しているか”・・・・・・・・・・17.3%
- * 「快適さ・安全対策」中の“外部からの不審者侵入を防ぐ対策”・・・・・・・・・・13.8%
- * 「日常の保育内容」中の“自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動”・・・・・・・・13.7%
- * 「快適さ・安全対策」中の“子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか”・・・・10.3%

【問8】の「総合満足度」は、100%です。（「満足」79.3%、「どちらかといえば満足」20.7%）

自由記述欄では、「アットホームな雰囲気が良い」「先生たちは皆優しく、心配りがあり信頼できる」などと感謝の声が多数寄せられています。一方、「設備の充実を望む（部屋、園庭が狭い）」「外遊びや運動の時間を増やして欲しい」などの要望があります。

利用者家族アンケート集計結果

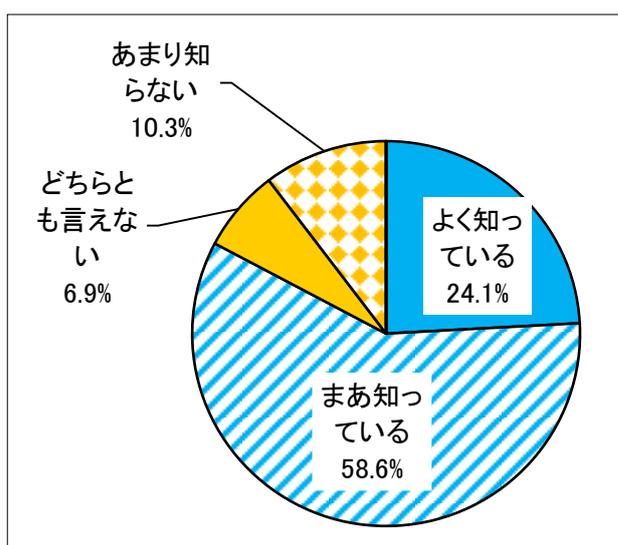
調査期間： 6月14日～6月30日

回収率： 87.9% (33件配付、29件回収)

	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
クラス別回答数	6	3	6	5	4	5	0

(%)

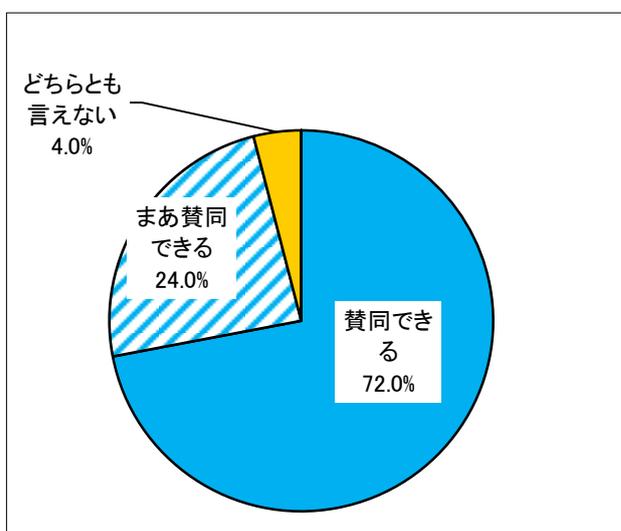
問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	24.1	58.6	6.9	10.3	0.0	0.0



付問1:

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	72.0	24.0	4.0	0.0	0.0	0.0



問2: 入園する時の状況について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
見学の受入について	65.5	13.7	0.0	0.0	20.7	0.0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について	65.5	20.7	3.4	3.4	6.9	0.0
園の目標や方針についての説明には	55.2	34.5	6.9	0.0	3.4	0.0
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育暦などを聞く対応には	65.5	31.0	0.0	0.0	3.5	0.0
保育園での1日の過ごし方についての説明	65.5	31.0	0.0	0.0	3.4	0.0
費用やきまりに関する説明には	62.1	27.6	3.4	3.4	3.4	0.0

問3: 年間の計画について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
年間に保育や行事についての説明には	58.6	34.5	6.9	0.0	0.0	0.0
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	34.5	51.7	6.9	0.0	6.9	0.0

問4: 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては	58.6	37.9	0.0	3.4	0.0	0.0
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	27.6	55.2	13.8	3.5	0.0	0.0
園のおもちゃや教材については	55.1	37.9	3.4	3.4	0.0	0.0
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	34.5	51.7	10.3	3.4	0.0	0.0
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持っているか	75.9	20.7	0.0	0.0	3.4	0.0
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	51.7	41.4	3.4	3.4	0.0	0.0

(%)

「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	75.9	17.2	0.0	0.0	6.9	0.0
お子さんが給食を楽しんでいるか	75.9	17.2	3.4	0.0	3.4	0.0
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて	65.5	20.7	3.4	0.0	10.3	0.0
昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているか	72.4	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	51.7	20.7	3.4	0.0	24.1	0.0
お子さんの体調への気配りについて	72.4	24.1	3.4	0.0	0.0	0.0
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	72.4	17.2	3.4	3.4	3.4	0.0

問5: 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
施設設備について	20.7	44.8	24.1	6.9	3.4	0.0
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	31.0	58.6	6.9	3.4	0.0	0.0
外部からの不審者侵入を防ぐ対策について	44.8	41.4	13.8	0.0	0.0	0.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について	62.1	27.6	10.3	0.0	0.0	0.0

問6: 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について	41.4	48.3	6.9	0.0	3.4	0.0
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について	62.1	34.5	3.4	0.0	0.0	0.0
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55.2	44.8	0.0	0.0	0.0	0.0
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について	69.0	17.2	3.4	3.4	6.9	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制について	55.2	37.9	6.9	0.0	0.0	0.0
保護者からの相談事への対応には	65.5	34.5	0.0	0.0	0.0	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる対応には	65.5	31.0	3.4	0.0	0.0	0.0

問7: 職員の対応について

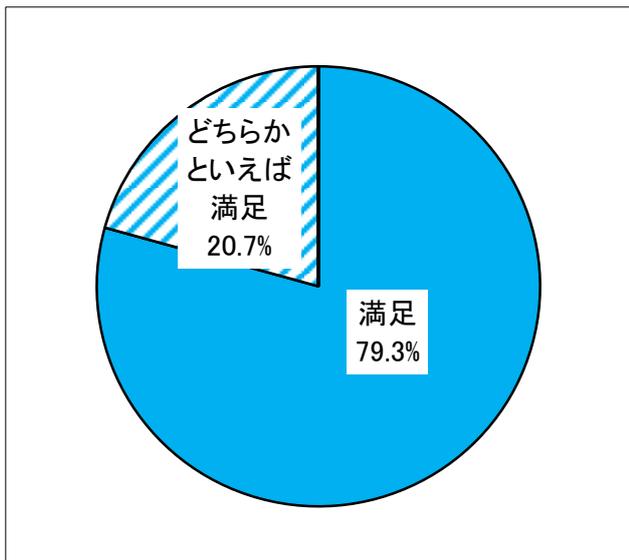
(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされてされているか	69.0	31.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるか	72.4	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について	55.1	20.6	0.0	0.0	20.6	3.4
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	72.4	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0
意見や要望への対応について	62.1	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0

問8: 総合的な評価

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	無回答
総合満足度は	79.3	20.7	0.0	0.0	0.0





利用者本人調査

【実施概要】

実施日時：2013年7月29日、2013年8月1日

実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

0歳児クラス

・朝のおやつ時間、小さな椅子やベビーチェアでテーブルについた子どもたちは「おやつ」がわかっているようです。準備ができるまできちんと座って待っています。保育士の歌う「おやつのうた」と一緒に手をたたいている子どももいます。入園してから4カ月がたち、保育園での過ごし方に少しずつ慣れてきています。

・一人ずつ、おむつを替えてもらいます。保育室の一角に布マットを広げた場所がおむつ替えのスペースです。保育士に優しく話しかけてもらい手際よく清潔にしてもらっていきます。

・まだ長い時間の集中が出来ない月齢です。保育士はテンポ良く遊び道具を変えて、子どもたちが飽きずに遊べるように準備していきます。保育士が手作りした優しい色合いと感触の遊び道具もたくさんあります。子どもたちは保育室中を、ずりずりしたり、はいはいしたり、柵を利用してつかまり立ちをしたり、元気に動き回っています。遊びながら、保育士に抱かれたり、くっついてみたりと思う存分保育士に甘えて過ごしています。

1歳児クラス

・自由遊びの時間、音の出るおもちゃや、木の電車を動かして遊ぶ子どもたち。おもちゃの聴診器を保育士に当ててお医者さんごっこや、リボンを保育士の頭に乘せて嬉しそうな子ども、人形をおんぶ紐で背中におぶらせてもらい「かわいいママになったね」と、言われて得意そうな子どももいます。子どもたち全員が安心して遊びに熱中しています。

・室内にある手洗い場で食事前の手洗いをします。自分でハンドソープを押し、自分で水道のハンドルを開き、ごしごと手洗いをしています。洗い方が足りない時には保育士が手をそえます。3つの蛇口に3人ずつ、「順番を守ること・待つこと」を体験しています。手洗いをこまめに丁寧に行っています。

・給食の時間、そろって「いただきます」の挨拶をして食事です。手づかみやスプーンで、一人で食べる事が出来るのですが、隣に先生に来て欲しい子どもたちが先生を呼んだり、手を握ったりして甘えています。笑顔も食欲もいっぱいです。

2歳児クラス

・今日は食育のプログラムです。子どもたちはエプロンと三角巾をつけ、わくわくして始まりを待っています。先生が野菜のシルエットを紙で作って持っています。「これはなーに？」「かぼちゃ！」カボチャを模した紙工作は、1枚めくると中味が現れるようになっています。中はきれいな黄色でプツプツと何かついています。「これはなーに？」「たね！」クイズに答えながら、カボチャの栄養や効能を勉強します。いよいよ、本物の大きなカボチャが出てきました。一人ずつ順にカボチャを持ってみます。外側を触って、どっしりとした重さを感じて、匂いを嗅いでいる子どももいます。「とても重い」ということが、なんだか

嬉しそうです。子どもたちの目の前でカボチャが切り分けられ、一人に一つずつ手渡されたカボチャの種をとります。スプーンで種を取るのはとても難しそうです。子どもたちの顔は真剣で、小さな肩や指先に一生懸命さがあふれていました。

・トイレトレーニング中の2歳児クラスは、「自分でおむつを脱ぐ・便器に座る・おむつをはく」を練習中ですがお祭りの日はいつもと着ているものが違って少し難しそうです。先生から「今日は手伝うね」と、少し助けてもらって浴衣姿でのトイレも成功です。

3歳児クラス

・夏祭り当日の朝、お祭りが始まるまでの間、自由遊びをして過ごしています。全員でコマ回しをしています。難しいことがいくつもあります。コマに紐を巻く・紐とコマと一緒に持つ・コマを投げて紐は投げない、根気良く練習していますが、なかなか思うようにいきません。保育士に紐を巻いてもらったり、一緒にコマを持ってもらって投げてみたり、それぞれのレベルに応じた手助けをしてもらっています。「お友だちのいないところに投げましょう」の約束を守って、仲良く遊んでいます。

・給食の時間、食事の前に箸使いの練習をしています。箸を1本持ち、「ことりの歌」に合わせて箸を動かします。手首を動かして小鳥のように、チョンチョンとしてみますが、まだ上手に持てない子どももいます。保育士が手を添えて、正しい持ち方を教えています。全員がきれいな箸の持ち方で食事ができるように練習しています。

いろいろの事に挑戦し、「出来た！」が、嬉しい3歳児クラスの子どもたちです。

4歳児・5歳児クラス

・保育室内の壁には、あさがお・花火・スイカ・うちわなど等、夏らしい制作物がたくさん飾ってあります。今日の制作の時間は、折り紙でセミを作ります。壁に折り方の絵と、実際の折り紙で作ったプロセスが貼ってあります。保育士から手順の前半の説明を聞き、それぞれが選んだ好きな色の折り紙で一斉に折り始めます。分からなくなった子どもには保育士が「絵をよく見て」「もうちょっと」などの声をかけています。自分で考え、自分の力で作りあげられる力を信じての助言です。後半の手順説明があり、子どもたちはみんなセミが完成しました。また一つ、保育室に夏らしい風景が増えます。

・夕方、3人の掃除当番が保育室の床を雑巾がけしています。バケツが用意され濡れた雑巾を絞ることから練習です。保育士から「手をパーにして雑巾がけするよ」の合図で、元気いっぱいのお掃除です。部屋をきれいにするだけでなく、子どもの手や足腰を丈夫にする意味をもった雑巾がけです。他に、庭の花への「水やり当番」と、給食の配膳を手伝う「給食当番」があり、子どもたちはどの当番の役目もとても楽しみにしているようでした。

訪問日2日目の夏祭り

・園児全員が浴衣や甚平を着て保育園全体がにぎやかなお祭り気分にあふれています。保育士の多くも浴衣やパッチ姿で、子どもたちから「先生かわいい」と声があがります。いつもの保育室が、盆踊り会場や屋台会場、屋台で買った食べ物を食べるフードコートになりました。

・盆踊りは、今日まで練習してきた踊りを、一緒に歌ったり掛け声をかけたりしながらとても楽しそうに踊っています。2歳児クラスの子どもたちは、まだ出来ないところもありますが、お兄さんお姉さんたちの踊りを見て、できるところを少しずつ増やして楽しんでいます。

・食べ物やゲームのたくさんの屋台が並び、交代でお店屋さん役とお客さん役をして遊びます。食べ物・

ゲーム・景品、全てが職員と保護者の手作りでできています。お客さん役の子どもたちは、用意された買い物袋を手に提げて大喜びです。お店屋さん役は、大きな声で呼びこみをしています。部屋の真ん中でどこに行こうかと、きょろきょろしている子どももいます。0歳、1歳の子どもたちも保育士に抱かれたり手を引かれたりして遊びに来ます。フードコートでは、屋台で買った食べ物を何度も美味しそうに食べる真似をして、楽しいごっこ遊びが続きます。

・お店屋さん役をしていた子どもが一人、次第に寂しそうにしています。どうやら、お客さんになりたくなったようです。気付いた保育士が、お祭りを楽しめるように何度も話していますが気もちは晴れません。お客さん役に交代になると、笑顔いっぱいに戻りました。あちこちから子どもたちのにぎやかな声が保育園中に響く夏祭りです。

・今日は3時のおやつもお祭りスタイルで、調理員さんたちがタコ焼き屋に扮して、「いらっしやい！いらっしやい！」と呼び声をかけます。待ちきれない様子の子もたちはチケットを持って並び「くださいな」と、タコ焼きと枝豆を買ったつもりです。おやつは美味しくて、お代わりもたくさんしました。

・いつもと違う保育室や、調理員や保育士の先生たちに、大喜びと大興奮の子どもたちでした。



事業者コメント

開園3年目を迎えるにあたり、現段階での保育サービスが客観的な視点でどうなのか、自分たちの保育を振り返る・知る・今後活かしていくという前向きな思いで受審致しました。本園は、日頃から全職員で「子どもや保護者に寄りそったあたたかな保育」を心掛けております。全職員の思いが自己評価に反映されるよう取り組みました。

限られた時間の中で、どのように意見をまとめていくか、数多くの設問をどう振り返られるか、気付きがあるか、意見を出し合えるか等、「自分たちの園を見直す」過程は意義ある事でした。また、自分たちの保育園の足りないところ、また良さにも気付ける良い機会ともなりました。

保護者の皆さまにも、お忙しい中アンケートにご協力頂きありがとうございました。

温かなご意見・厳しいご意見共に、心より感謝致します。さまざまなご意見がありますが、保護者からの満足度が100%であった事は職員にとって大きな喜びであり、励みであり、意欲となっております。皆さまからのご意見を元に、今後よりよい保育園として皆さまにご利用して頂けるよう改善できる点は早急に改善して参ります。

評価員の方々には実地調査で、実際の保育・環境設定・職員のヒアリング・子どもからの聞き取りなど詳細に見て頂けた事を感謝いたします。小規模で限られた環境である為、取り組み困難と思っていた、地域の子育て支援や地域との連携についても、今回の評価を参考にして出来る事から始めて参ります。

太陽の子 新子安保育園